

特集

豊山中学校改築基本計画まとまる
改築場所は現在の中学校敷地が基本

町内唯一の中学校である豊山中学校は、築後60年を経過し、経年劣化が進んでいることから、改築整備を前提とした検討を行ってきました。令和4年8月に豊山中学校施設整備基本構想会議でまとめられた「目指すべき中学校のあり方」の方向性や検討成果を踏まえ、施設整備をさらに具体化するために、教育委員会が豊山中学校改築基本計画を策定しました。その内容についてお知らせします。

1 改築コンセプト

つながり、学び合い、共に成長できる人と地域の可能性を伸ばす豊山中学校
人としての可能性や学びの可能性を伸ばしていくため、生徒、教職員、地域の方々との出会いが広がり、3つのつながりを深めることに配慮した学校づくりを進めます。

2 計画における基本的な考え方

この計画の基本的な考え方をいくつか抜粋してご紹介します。



(1) 教育環境の質的向上

- ・同一学年は同一階に配置できるように余裕教室も考慮した計画とする。
- ・障がいの種別に柔軟に対応できるように、間仕切りを変えることができる特別支援教室を計画する。
- ・廊下、階段等は幅を広くするなどにより、生徒の学習の場としての機能を確保する。
- ・LAN技術の革新に対応できるように配線ネットワーク機器交換の容易な設備を設置する。

(2) 快適な学習生活空間・環境への配慮

- ・校舎は自然採光、自然換気により明るく過ごしやすい環境にする。
- ・多様性に配慮した多目的トイレを設置する。
- ・多様な子どもたちに対応するため、教育相談や学習支援、生徒指導のための部屋を整備する。

(3) 地域コミュニティの拠点形成

- ・地域開放部分と学校利用部分はセキリティ区分を明確に計画する。
- ・町民や地域のボランティアが自由に利用できる地域活動室等を設置する。
- ・既存の記念碑や記念樹木は保全し、必要に応じて移設・移植する。

(4) 安全・安心な施設環境の確保

- ・校舎は耐震構造とし、重要度係数は文部科学省の構造設計指針に則り1.25以上とする。
- ・災害発生時の拠点として、避難者が安全・安心に利用できるよう災害備蓄倉庫や設備を設置する。
- ・生徒、教職員及び学校施設利用者の

(5) 財政負担を軽減する効率的な施設・運営

- ・プライバシーに最大限配慮しつつ、不審者侵入の防止を図るため、防犯カメラを適所に設置する。
- ・余裕教室を考慮し、効率的で将来の改修も想定した学校施設計画を行う。
- ・工事期間中であっても、行事の中止や教室の明るさ確保など、生徒の学習環境に与える影響を最小限に抑える。
- ・財政負担に考慮しつつ最適な学習環境を確保する。

3 学校施設の機能・規模

※3ページ表のとおり

4 建設候補地

- ①現在の豊山中学校、②豊山スカイプール・駐車場・豊山グラウンド、③市街化調整区域、を候補地として比較検討を行った結果、敷地環境、屋内教育環境、運動場環境、整備コスト、工期・工事の影響について、バランスが総合的に優れている①現在の豊山中学校敷地を基本として事業を進めていきます。既存